

総評

ご参加いただいた生徒の皆様、誠にありがとうございました。あわせて、運営に携わっていただいた塾の先生方、お忙しい中ありがとうございました。

また、結果発表および帳票（成績表）送付につきまして、遅くなり誠に申し訳ございません。次回からは、出来る限り迅速に対応いたします。

さて、本年から全国大会（配信）は春と秋の年 2 回の実施になりました。これは、全国大会（配信）を単に『競技する』イベントから、見えない能力である 3 つの思考力の習得状況を『数値化する』イベントにする為です。簡単に言いますと、半年間でどのくらい能力が高まったかを数字に表す為のものです。難しい言葉で表すと『効果測定』と言います。

パズル道場には『検定』と『パズルオリンピック』があり、これらも効果測定の役割を果たしております。しかしながら、何度もやり直しができる『検定』や『パズルオリンピック』とは異なり、毎回真剣な集中を必要とする一発勝負の全国大会での効果測定は『検定』や『パズルオリンピック』では測り切れないものが見えてきます。

具体例をひとつあげますと、全国大会（配信）と毎月実施の『パズルオリンピック』は問題内容や出題形式・ルールが類似しているため、今回の上位入賞者のほとんどは、『パズルオリンピック』に参加し、好結果を残している生徒達です。しかしながら、細かく見ていくと『パズルオリンピック』の成果が全国大会（配信）では出せない生徒、また、その逆の生徒もいます。両方とも同じような成果を出すにはどうしたら良いかを考え、対策を実践する事が出来たら、大きな能力アップに繋がるのはもちろん、一般的な学科のテストの得点能力も大きく飛躍させる事に繋がります。

また、今回の特徴として 10 点以下の点数を取る生徒が前回に比べ大きく減少しました。事前対策がきちんと出来ていた成果だと思えます。10 点以下の点数をとってしまう生徒は、単純に 3 つの思考力だけではなく、テストのルールを理解しその為の対策を考えることが出来ていない生徒です。問題が解けなかったのではなく『たくさん減点』があったからだと思えます。したがって、例え 0 点だったとしても、その為の対策が出来れば簡単に点数はとれるようになります。次回は 100 点を狙うのではなく、まずは 20～30 点を目標に、そしてそれがクリア出来たら 50 点を、そして最終的には 80 点以上を目指してください。自分のペースで階段を 1 つずつ登ってください。

今回「ジュニアの部」（小学生まで）で 80 点以上を取ったみなさん、また『パズルオリンピック』のレベル S や SS で 50 位以内に入っている小学生の皆さん、是非とも次回以降の全国大会（配信）では「一般の部」（年齢制限なし）に参加してください。なかなか入賞出来ないかもしれませんが、前述の結果が出せるようになった小学生は是非ともハードルの高い中で取り組んでください。現在、全国大会（配信）の「一般の部」や『パズルオリンピック』SS で、常に上位にいる中学生、高校生、一般（大学生）は全員、小学生からパズル道場を受講し、全国大会や『パズルオリンピック』で中学生以上と同じ土俵で取り組んだ生徒たちです。

では秋の全国大会（配信）に向けて、今回の結果をもとに、まずは『検定』、そして『パズルオリンピック』と『挑戦問題』にそれぞれの目標を設定して取り組んでください。